

小学校、中学校における教育活動について（第20版）

平素は本市教育行政及び本市小中学校の教育活動について、ご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。さて、新年度がスタートしましたが、新型コロナウイルス感染症に対する大阪モデルのステージは「赤色信号（レッドステージ）」となっており、依然大阪府においては新型コロナウイルスの感染者数は高い水準で推移しております。それを受けまして、本市におきましては4/8（金）以降、下記の対応で教育活動を進めてまいります。

今後の感染状況を注視しつつ、各校においては、子どもたちの安全確保を第一として、引き続き感染防止対策を徹底しながら、教育活動を進めてまいりますので、何卒ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1. 教育活動の形態について

- ・感染予防に最大限配慮しながら、原則全員登校による形態での教育活動を継続します。

2. 感染防止対策の徹底について

- ・引き続き、前を向いての授業スタイルを基本とします。
- ・大阪モデルのステージが「レッドステージ」期間中、各教科等に関する指導について、感染拡大防止の観点から、特に感染リスクの高い学習活動については実施しません。（例えば、以下の㊦～㊫のような学習活動）尚、大阪モデルのステージが「イエローステージ」となった場合、下記の活動については感染状況を見据え、感染防止を徹底した上で、徐々に実施していきます。

- ㊦ 各教科等に共通する活動として「児童生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」
- ㊧ 理科における「児童生徒同士が近距離で活動する実験や観察」
- ㊨ 音楽における「室内でのリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」
- ㊩ 図画工作、美術、工芸における「児童生徒同士が近距離で活動する共同制作や鑑賞の活動」
- ㊪ 家庭科における「児童生徒同士が近距離で活動する調理実習」
- ㊫ 外国語科、外国語活動における「児童生徒が近距離でペアやグループとなってコミュニケーションをとる活動」や「ハイタッチなどの身体的接触」
- ㊬ 体育、保健体育における「児童生徒が密集する運動」や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」

3. 給食について

- ・通常授業の継続に伴い、今後も通常給食の提供を継続します。引き続き感染予防のために、前を向いてのスタイルで実施します。

4. 参観、懇談、家庭訪問、学校行事等について

- ・各校の判断により感染防止を徹底しながら実施可能としますが、各校の実情や感染状況に応じて内容等を検討することとします。

5. 校外学習について

- ・各校の判断により感染防止を徹底しながら実施可能としますが、各校の実情や感染状況に応じて内容等を検討することとします。

6. 修学旅行等宿泊学習について

- ・一学期中の実施については延期いたします。
- ・二学期以降の実施については、あらためて各校よりご連絡します。

7. 水泳活動について

- ・現在検討中です。決定次第、あらためて各校よりご連絡します。

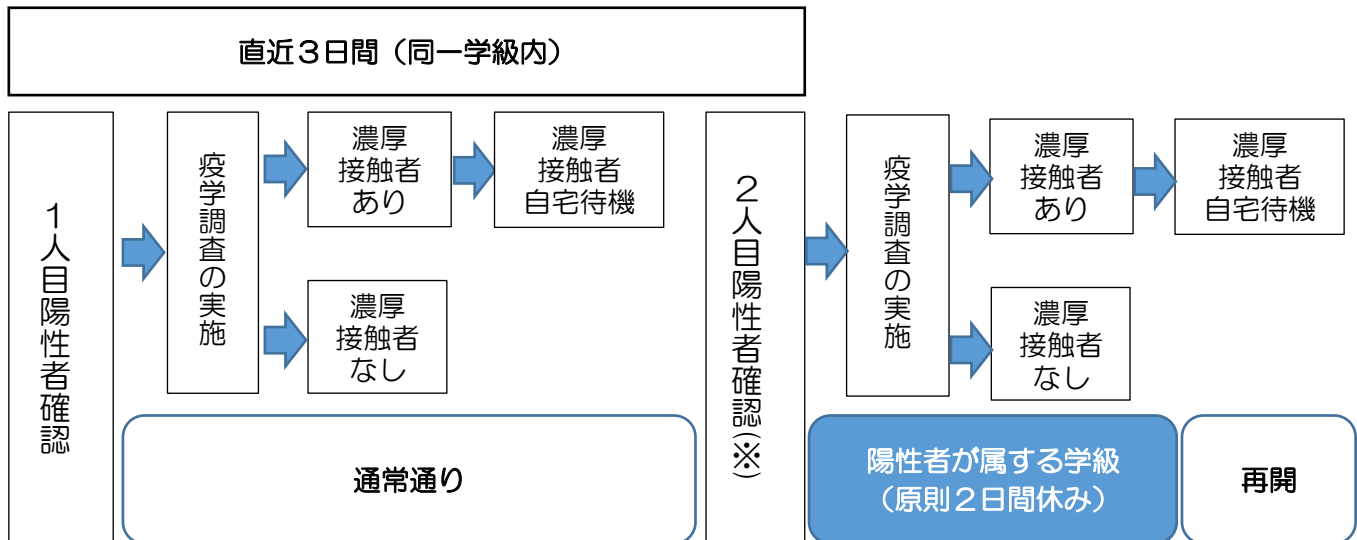
8. 「レッドステージ」期間中の中学校における部活動について

- ・感染リスクの高い活動については実施しません。
- ・試合の参加については公式戦のみとし、無観客で行います。
- ・練習時間については平日は1時間以内、休日は2時間以内とします。

※尚、「イエローステージ」になった場合は、あらためて各校よりご連絡します。

●児童生徒及び教職員等に新型コロナウイルスの感染が確認された場合の対応について

- ・上記の対応につきましては、引き続き以下の内容で対応いたします。



- ・学級で1人目の陽性者が確認された場合、保健所の示す基準に従い疫学調査を実施し、濃厚接触者の有無を確認します。疫学調査の結果、濃厚接触者と特定された者に対し陽性者と最後に接触した日から7日間の自宅待機を促します。
 - ・この間、学校活動は通常通り行いますが、1人目の陽性者が属する学級で直近3日間において新たに感染経路が明らかでない(※)2人目の陽性者が確認された場合は、感染拡大防止の観点から、その学級を原則2日間の学級閉鎖とし、改めて保健所の基準に従いその陽性者の疫学調査を実施します。
- (※) 家族等に陽性者がおらず、本人の発熱等の症状から陽性となった者

●あらためて保護者の皆様へのお願い

1. 登校時の健康観察

朝登校する前に、お子様の検温、健康状態の把握をあらためてお願いします。調子がよくない場合は、登校を控えるようお願いいたします。同居のご家族に発熱等の症状がある場合にも、登校を控えるようお願いいたします。いずれも欠席扱いにはなりません。

2. 登校が不安で学校を休みたいとき

学校へご連絡ください。登校不安や健康不安で学校をお休みされる場合は、欠席扱いとはなりません。その場合、ご家庭でオンラインやプリント等を活用して学習ができます。詳細については学校とご相談ください。

3. マスクの正しい着用について

マスクの着用方法によって飛沫の捕集効果に違いが生じることから、正しい方法で着用することが重要です。また、一般的なマスクでは、不織布マスクが最も高い効果を持ち、次に布マスク、その次にウレタンマスクの順に効果があるとされています。

このことからお子様の発達段階等に応じて、マスクの大きさや種類にも気を付けていただきますよう、引き続きご協力をお願いいたします。